

耐久・防水・防塵性向上

ポータブルガス検知器



GX9000は最大6種類のセンサーを搭載し、1000種類以上の組み合わせに対応した。価格は可燃性ガス、酸素、硫化水素、硫化水素、酸化炭素、塩素、二酸化炭素(CO₂)の6種類対応で41万6000円(消費税抜き)。同9000Hはオイルタンカーなどで必要な最大1000ppmの高濃度硫化水素を測定可能で、可燃性ガスと硫化水素、酸素の対応で31万1000円(同)。

両タイプともに国際

船舶想定 16言語選択可能

理研計器は自社開発のセンサーを搭載し最大6種類のガスを同時に検知できるポータブル型マルチガス検知器「GX9000シリーズ」を開発した。27日に発売する。従来機種に比べ耐久性や防水・防塵性、落下耐久性などを向上した。石油やガスを運ぶタンカー、タンクなど幅広い用途で使用できる。国内外で販売する計画で、6月に受注を開始。年間販売目標は8000台。

理研計器、最大6種対応

電気標準会議(IEE)C)が規定する保護等級「IP66/68」相当の防水・防塵性能と、1.5mの落下耐久性を持ち、使用温度範囲は約40度〜60度C。大容量リチウムイオン電池(LiB)の採用で連続25時間使用可能とするなど従来機種に比べて性能を向上した。また、内蔵のセンサーは保証期間を従来の1年から3年に大幅に伸ばした。

同製品は国内防塵規格をはじめ幅広い規格に対応しているのが特徴。日本産業規格(JIS)をはじめ、各国の防塵規格などを取得済み。今後、可燃性ガスや酸素ガス検知器に関する欧州の「EN規格」や、欧州船用機器指令(MED)の認証も取得予定。特にポータブルガス検知器でMEDを取得している国内メーカーはないため、製品の大きな優位性になる。

船舶での使用を想定し、表示言語は16言語から選択可能。近距離無線通信規格「ブルートゥース」と専用アプリケーション「RKリケーション」により、スマートフォンやタブレット端末と通信可能。ワンタッチで日時や測定者、場所、測定値を保存し、CSVファイルに変換してメール送信もできる。

同製品は国内防塵規格をはじめ幅広い規格に対応しているのが特徴。日本産業規格(JIS)をはじめ、各国の防塵規格などを取得済み。今後、可燃性ガスや酸素ガス検知器に関する欧州の「EN規格」や、欧州船用機器指令(MED)の認証も取得予定。特にポータブルガス検知器でMEDを取得している国内メーカーはないため、製品の大きな優位性になる。